

◆胃がん検診部会

開催日	令和6年2月8日(木)
参加者	【奈良県がん予防対策推進委員会委員】 赤羽 たけみ (◎)、丸上 永晃、山田 全啓 【関係者】 美登路 昭、松村 雅彦、吉田 太之、沢井 正佳
議題	(1) 胃がん検診(胃内視鏡検診)実施要領の改定について (2) 奈良県胃がん検診従事者研修会について (3) 胃内視鏡画像評価について (4) 胃がん検診の精度管理について(情報共有)
課題と今後の予定	① 胃がん内視鏡検診の要精検率(≒生検率)が高いため、市町村にフィードバックするとともに、不要な生検であった場合は、二次読影医にコメントを残してもらうことが必要。また、生検妥当性の評価の報告を求める枠組みがないため、二次読影結果のとりまとめに関して検討が必要。 ② 奈良市も画像評価に参加できるようアプローチを行う。 ③ 集団検診と個別検診で、胃がんエックス線検診のがん発見率に差があるため、市町村にフィードバックが必要。

◆胃がん検診従事者研修会

日時	令和6年3月2日(木) 13:30~17:00(予定)
場所	かしはら万葉ホール 研修室2
対象	・市町村が実施する胃がん検診に従事する医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師等 ・胃がん検診に従事する市町村・保健所職員等
内容	① 質の高い対策型胃内視鏡検診を目指して ～奈良県の現状を踏まえて～ 講師：消化器内科学講座(消化器・代謝内科) 准教授 赤羽たけみ氏 ② がん検診について 講師：大阪大学大学院 医学系研究科 社会医学講座環境医学 教授 祖父江友孝氏 ③ 情報提供：国の指針に基づくがん検診と精度管理について 奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課